

新物流センターが稼働



アスカテクノス 本社



アリソン新物流センター

月間出荷量1400台に増加

カスタマイズ作業
エリアは29%拡大

荷量が月間1千
台から1400
台に増加すると

中型・大型商用車向けオートマチックトランスミッションのアリソンジャパンは、同社製品の物流業務、カスタマイズを委託するアスカテクノスの本社機能が東京都八王子市に移転したことに伴い、新アリソン物流センターが稼働、OEM向けアリソントランスミッション製品の出荷を1月に開始した。

アスカテクノスでは、米国やイ

EM向けトランスミッションの出

新アリソン物流センターは、O

の出荷場を454平方メートル、入出荷時の作業効率を大幅に引き上げるという。

ンドから輸入されたアリソン社製トランスミッションを各OEMメーカー向けにカスタマイズする事業と、トラック・バス事業者向けに、中・大型商用車向けフルオートマチックトランスミッションの修理、点検、オーバーホールといったアフターサービスを提供する事業を行う。

ともに、カスタマイズ作業エリアが29%拡大した。これまで作業エリアでは5本のクレーンで対応していたものを7本に増やし、効率化を図ることで生産性が向上した。作業量の増加に伴い、保管量も月間1420台から1800台に27%増加。また、出荷時の品質が天候に左右されないよう、屋内

アリソンジャパン

営業企画